

『国際政治』第158号原稿募集

「東アジアの新国際秩序」(仮)

中国での北京オリンピック開催や少数民族問題、四川大地震、北朝鮮の核開発や日本人拉致などの問題、台湾、韓国での新政権発足、日本の小泉、安倍、福田政権の東アジア外交、ロシア、アメリカでの政権交代など東アジアの状況は近年目まぐるしい変化を遂げている。これらの情勢が東アジアにおいて新たな国際秩序を構築しつつあるのかという基本的な問いを含めて、東アジアの国際情勢の今後をどのように展望するかが本特集の基本的な主題である。

「東アジア」という場合、その範囲が問題となる。本特集では敢えて厳密に定義することはしない。第一義的には、近年、東北アジアと東南アジアに跨る国際的な枠組みづくりが進んでいることを踏まえ、ASEANプラス日中韓台でカバーされる地域を主に考える。現在の東アジアでは、東北アジア、東南アジアの連動が顕著になっており。たとえば日中関係にとっても、両国が東アジア全域において如何に協力ないし競争するかということが重要な要素となっている。しかももちろん東北アジア、東南アジアやそれ以外のサブ・リージョナルな国際秩序が重要であることは言を俟たないし、ロシアや豪州、インド、そしてなかんずく米国がそこに深く関わっている。それゆえ、東アジアという概念にはある程度の幅をもたせている。

テーマとして、たとえば、各国の東アジア政策やその基底にある内政との連動、ナショナルリズムと相互依存の拡大深化の相関、地域統合とグローバル化の関係、6者協議等の多国間枠組み等の役割、あるいは国家以外のアクターの役割と動向、非伝統的脅威への対処など新しい問題の出現などが考えられよう。アプローチとしても実証的な地域研究はもちろん、国際関係理論を現在の東アジア情勢に応用した試みなども歓迎する。多面的な角度から今後の東アジア国際関係を展望する特集としたい。

論文の応募を希望される会員は、論文のテーマと趣旨を600～800字程度にまとめ、自宅および勤務先の住所・電話・FAX・電子メールアドレス(必要に応じて出張、休暇中の連絡先を含む)を明記した上で、2008年12月26日(期限厳守)までに編集責任者にメールでお送り下さい。

テーマとの関係、本号の全体的構成などを総合的に検討した上で、執筆をお願いする方には2009年1月15日までにご連絡致します。なお論文の最終締め切りは2009年6月30日、論文の分量は注を含め2万字以内と致します。また最終的な掲載は論文提出後に決定致しますので、この点を予めご了承下さい。

執筆要領については学会ホームページか、『国際政治』152号に掲載されていますので必ずご確認下さい。お申し込み、お問い合わせは以下の連絡先までお願い致します。

《編集責任者》 高原明生

《連絡先住所》 113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学法学政治学研究科

《電話》 03-5841-3125

《FAX》 03-5841-3161

《メール》 takahara@j.u-tokyo.ac.jp